

〔質疑〕白石城とホワイトキューブの電話設備更新工事が計上されているが、どのような内容の工事なのか。

〔答弁〕両施設は開館から16年以上経ち、電話交換機の耐用年数を既に経過し、交換部品も製造を中止している。

また、停電時には全く通話できないという機種であるため、停電バッテリーを備えた機種に変更しようとするものである。

〔質疑〕小原地区焼却灰仮置き場の焼却灰搬入前後の空間放射線量に違いはあったのか。

〔答弁〕焼却灰搬入前後の放射線量は0.08マイクロシーベルトであり、測定結果に変化はなかった。

〔質疑〕市民の理解を得るためにも、小原地区焼却灰仮置き場を見学してもらうことも必要ではないか。

〔答弁〕自治会などで希望があればいつでも日程を調整しながら公開をしている。月に1回になっているが、日程が

合えば、収集日にコンクリートボックスをあげ、そこに実際に入れる作業を見学することもできる。

〔質疑〕焼却灰仮置場造成工事費が計上されているが、仮置き場何所ぐらいを想定したもののなのか。

〔答弁〕造成工事については箇所数ではなく約1千600平方メートル程度を概算で見込んでおり、そこに砂利敷きをし、防護柵を設置するというものである。

〔質疑〕焼却灰保管箱の購入費が計上されているが、どのくらい購入する予定なのか。

〔答弁〕概算で計上しているのは56基程度を見ている。小原の保管箱もいっぱいになりつつあるため、15基を購入するもので、あわせて71基購入予定である。

〔質疑〕中央公民館音響設備機器更新工事の内容はどのようなになっているのか。

〔答弁〕ミキサー、モニター

アンプ、スピーカー等、全ての音響設備を全部更新するものである。

〔質疑〕学力向上パワーアップ支援事業とはどのような事業なのか。

〔答弁〕県からの委託事業で、児童の学力向上のために先生方が研修を受講するという事業である。

〔質疑〕学力向上研究指定校事業というものはどのような事業なのか。

〔答弁〕学力向上研究指定校事業は、平成12年度から廃止していたが、今年度から再び始まった事業である。

3年間継続で、県の学力向上をどのようにしていくかというところで、仙南地方については小中学校各1校指定となっており、小学校では第一小学校が指定になったということである。

3年間継続の県委託事業であり、教職員の研修等に使う経費となっている。

専決処分の内容

6月定例会において、承認された専決処分の内容について報告します。

第36号議案（専決第1号）
平成24年度白石市一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算にそれぞれ3億914万8千円を追加し、予算の総額を172億8千964万1千円にいたさとするものである。

歳出のおもな内容は、都市整備基金及び財政調整基金などの積立金を増額する一方、事業費の確定などに伴い、造成宅地滑動崩落緊急対策事業費、下水道事業会計補助金、放射能対策費、災害援護資金貸付金及び予防接種事業費などを減額したものである。

これらに要する財源としては、交付決定に伴い、地方交付税、自動車取得税交付金などを増額し、繰入金、市債などを減額したものである。

第38号議案（専決第3号）
白石市市税条例の一部を改正する条例

第39号議案（専決第4号）
白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成25年3月30日に地方税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、白石市市税条例及び白石市国民健康保険条例の改正を必要があり、4月1日からの施行に際し議会を開催することができないことから、地方自治法の規定に基づき専決処分をしたものである。

おもな改正点としては、延滞金の割合の特例の対象範囲の拡大や、個人市民税の住宅借入金等特別控除の適用期限の延長・拡充及び国民健康保険の被保険者の軽減判定所得の算定の特例の恒久措置化、国民健康保険税の被保険者に係る後期高齢者支援金等課税額の世帯平等割額への特定継続世帯の区分の創設がされるものである。